

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	社会科学入門 (Introduction to Social Science)		
ナンバリングコード	B10505	大分類 / 難易度 科目分野	教養教育科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1年 / 後期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A033551	クラス名	-
担当教員名	長崎 浩介、阿部 裕香里、小久保 雄介、閻 亜光、後藤 徹寛、橋本 拓		
履修上の注意、履修条件	1. 科目の性質及び教育効果の観点から、履修生の定員を40人とし、履修希望者が定員を超える場合は、第1回授業において課題レポートによる選考を行います。 2. 1.の選考に当たっては、科目の性質上、保健医療学部及び工学部の学生を優先します。 3. 原則として、全部の授業回を教室(対面方式)で行います。		
教科書	指定しません。 レジュメ、スライドなどを使用します。		
参考文献及び指定図書	授業中に随時紹介します。		
関連科目	経営経済学部各科目		

○基本情報			
授業の目的	大学で取り扱う学問(科学)は、人文科学、社会科学及び自然科学の3分野に大別されます。このうち社会科学とは、主に社会の営みを分析対象とし、伝統的には法律学、政治学、経済学、経営学、社会学、教育学などがこれに分類されます。また近年では、これらの伝統的なジャンルを越え、又は融合した、学際的な研究分野も発展しています。  この授業では、主に理系(保健医療学部及び工学部)の学生を対象として、本学経営経済学部の社会科学各分野担当の教員(研究者)が、それぞれが専門とする分野のエッセンスと、研究の実際を紹介し、学生の皆さんには、社会科学のさまざまなジャンルや研究活動に触れることを通じて、自身の専門分野にとどまらない幅広い視野や教養を身につける契機とすることを期待します。		
授業の概要	本学経営経済学部の教員6人が、オムニバス形式により授業を担当します。 担当教員(専門分野)は、次のとおりです。(授業順)  長崎 浩介(会計学)、小久保 雄介(商品企画)、阿部 裕香里(経営組織)、閻 亜光(人的資源管理)、後藤 徹寛(観光学)、橋本 拓(社会福祉学)		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「共同担当方式」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」	
地域志向科目	該当しない		
実務経験のある教員による授業科目	地方自治体において監査、団体検査、中小企業支援等の行政事務に従事(長崎) ホテル運営会社においてプライダル、フロントマネージャー業務に従事(閻) 新聞社を皮切りに、省庁・国立研究所等に勤務し、新産業創出や産学官連携に従事(後藤)		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会科学全般に対する関心を高め、公共へ参画する態度を養う。		25点	
【知識・理解】	社会科学全般に関する基礎的な知識を習得する。		25点	
【技能・表現・コミュニケーション】	課題(レポート)の記述を通して、論理的な表現能力を高める。		25点	
【思考・判断・創造】	社会科学全般に関する学びを通して、思考・判断・創造力を養う。		25点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
毎回の授業において課題(レポート)を課します。 成績評価は、課題の提出状況及び記載内容により行います。期末試験は実施しません。 課題へのフィードバックは、次回以降の授業において行います。	

○その他	

## 2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	社会科学入門 (Introduction to Social Science)	授業コード	A033551
	担当教員	長崎 浩介、阿部 裕香里、小久保 雄介、閻 亜光、後藤 巖寛、橋本 拓		
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション／社会科学とは何か【長崎】</b>				
この回では、授業全体の進め方についてガイダンスを行うとともに、社会科学(に属する学問群)の全体像と、この講義で触れるトピックのあらましについて解説します。 履修希望者が受講定員を超えた場合は、第1回授業の課題レポートにより履修生を選考します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>2. 経済・社会と企業会計【長崎】</b>				
営利・非営利を問わず、おカネを扱う組織には必ずその動きを記録し、その結果を誰かに報告する営みが行われています。組織のおカネの動きを記録・報告する機能のことを会計といい、中でも営利企業の会計(企業会計)では、その記録・報告のために高度なルール(会計制度)の体系が存在します。なぜ高度なルールが必要なのでしょう？ この回では、会計のルールと経済・社会との関わりについて学びます。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>3. 複式簿記【長崎】</b>				
会計の営みの前提として、おカネの動きを帳簿に記録することを簿記 bookkeeping といいます。特に企業会計では、企業内部での複雑なおカネの動きを整理・記録するため、複式簿記 double-entry bookkeeping という技術を使います。複式 double といいますが何がダブルなのでしょう？ この回では、複式簿記の基本的な仕組みについて学ぶとともに、複式簿記の検定試験である日商(日本商工会議所)簿記検定のあらまし、さらにその攻略法を紹介します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>4. マーケティング入門【小久保】</b>				
多く企業は利潤を追求するために何かしらの商品(目に見えるモノだけでなくサービスまで含む)を販売しています。商品の販売のために企業は様々なことを考え、顧客とのコミュニケーションを行っています。この授業ではそのコミュニケーション＝マーケティングの入り口を解説していきます。具体的にはSTP(お客さんを誰にして、どのような印象を持ってもらうか?)、4Ps(Place、Price、Product、Promotion)の概要を学びます。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>5. 商品開発入門【小久保】</b>				
前回の授業で4Psについて学習しましたが、多くの企業は販売する商品(Product)がないと事業を行うことができません。この授業では世の中の商品がどのように考え、作られていくか(商品開発)について学習していきます。具体的には商品開発のプロセスや問題点などを概観した後に開発の上流工程の商品企画についてのポイントについて実際の事例などを用いながら理解を深めていきます。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>6. 組織コミュニケーション【阿部】</b>				
社会は、様々な組織で構成されています。組織の中には、チームがあり、それぞれがコミュニケーションをしっかりとることにより、業務が遂行されていきます。業務を円滑に進めていくためには、適切な組織設計とコミュニケーションが必要になります。この授業では、組織にはどのような形があるのか、コミュニケーションの基本、組織文化について学習していきます。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>7. リーダーシップ【阿部】</b>				
多くの人をまとめ、目標を達成するためには、組織にプラスとなる影響を与え、目標とする方向へ導いていく必要があります。目的を達成するために、人は、組織をどのようにまとめたり、やる気づければよいのでしょうか。「リーダーシップ」の基本的概念と、リーダーシップに関するさまざまな理論について学習します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>8. サービス業界における人的資源管理【閻】</b>				
日本の誇りと言ってもいいほど、日本サービス業のクオリティが高いと思われます。この回の授業では、日本にあるサービス業を事例として紹介し、日本サービス業界における人的資源管理の良さ及び問題点を理解しましょう。授業では、スターバックスの事例及びスターバックスの活用術が含まれますので、興味ある人は積極的にご参加ください。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間

○授業計画	科目名	社会科学入門 (Introduction to Social Science)	授業コード	A033551
	担当教員	長崎 浩介、阿部 裕香里、小久保 雄介、閻 亜光、後藤 巖寛、橋本 拓		
<b>学修内容</b>				
<b>9. 性的マイノリティ当事者の勤務問題【閻】</b>				
性別は男女だけではないこと知っていますか？色々と変化している世の中、性別の多様性に関する知識を身につけなければなりません。性的マイノリティ当事者は企業で勤務する問題はどのようなものなのか、当事者はそもそもどのような人なのかを理解しましょう。この回は性的マイノリティに関する回ですが、事前の配慮を希望される場合は、担当教員までご連絡ください。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>10. 国際理解と地域連携(世界の中の日本・大分)【後藤】</b>				
国際社会において国家は、ひとつの塊(かたまり)、グループである一方、異なる文化や習慣を持つ様々な国や民族と交流しながら存在しています。とくに「グローバル社会」と言われる現代社会は、食糧や燃料資源を交易しながらでない日々の生活を送ることさえ困難な時代です。このような社会的背景において、国際理解・国際協調は不可欠だと考えられています。同様に、国内でも地域間の交流や連携なしでは自治体の行政も立ち行かなくなりつつある中、「観光／ツーリズム」を通して社会を分析します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>11. 多文化共生・異文化理解(コミュニケーション)【後藤】</b>				
前回に続けて、「観光／ツーリズム」の視点から、世界の中の日本、そして大分のプレゼンス(存在意義／存在価値)について、具体的な「温泉(湯治)」や「景観(里山)」、「禅(ぜん)」といった日本独特の文化や歴史、思想などを紹介します。さらに、多様な文化や価値観を認め合う「多文化共生」、そして自分と異なる文化や価値観、生い立ちを理解する「異文化理解」について、コミュニケーションの重要性とともに解説します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>12. サステナビリティ・未来デザイン【後藤】</b>				
私たち人類が暮らす地球は現在、80億人を超える人口を抱え、適正な収容能力(キャリングキャパシティ)を大幅に超過しているといわれています。つまり、安定的かつ持続可能な食糧供給、資源エネルギー供給が年々難しくなっているのです。これを「成長の限界」や「地球の限界(プラネタリーバウンダリー)」などと呼びます。地球は、それほどに危ないのでしょうか。「サステナビリティ」つまり持続的、永続的に人類が生き残るために私たちは今、何をすべきなのか、現代社会のマネジメントとともに、未来をデザインする社会科学のダイナミクス、醍醐味を紹介します。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>13. 社会福祉概論【橋本】</b>				
「ふくし」って何？「社会福祉」と聞いて何をイメージするでしょうか。現代社会において、社会福祉に関わる課題は、多様化、複雑化しています。それに伴い、社会福祉の捉え方もさまざまであり、社会福祉に携わる人や機関等も多様な形態で連携しています。この回では、現代社会が抱える社会福祉の現状と課題について、社会福祉の歴史も含めながら概観し、今後の社会福祉の目指すべき方向性を確認していきます。その中で、自分自身の「ふくし」に対するイメージを膨らませましょう。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>14. 自己覚知【橋本】</b>				
社会福祉に携わる専門職(ソーシャルワーカー)は、倫理観や社会福祉の価値に基づいてクライアント(相談者や利用者)と関わります。この際、必要になるのが「自己覚知」です。ソーシャルワーカーは、クライアントに対して“真剣に向き合う”ことが求められます。そのために大切なことは、ソーシャルワーカーがまず自分の“気持ち”に“真剣に向き合う”ことです。なぜなら、自分の気持ちを理解することができる範囲でしか、他者の気持ちを理解することはできないからです。この「自分の気持ちを理解する」過程のことを「自己覚知」といいます。この回では、ワークを通じて、自己覚知について具体的に学んでいきます。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>15. 日本の地方自治【長崎】</b>				
日本では、住民に対する行政サービスの提供を国(中央政府)と地方自治体(都道府県・市町村)で分担しています。国内の行政サービスの一部を地方自治体が分担する仕組みのことを地方自治といいます。この回では、地方自治の必要性、国と地方自治体との分担の考え方、地方自治体の運営(ガバナンス)の仕組みなど、地方自治の仕組みの基本を学びます。				
予習	配布資料(プリント)を事前に読み込む。キーワードについて自分で調べる。			約2時間
復習	配布資料(プリント)を見直す。各自で授業内容の振り返りを行う。			約2時間
<b>16. 期末試験</b>				
実施しません。				
予習				
復習				